

R7 年度 ル・ソラリオン綾瀬 事業計画書

1. 施設理念

- ・ ご利用者の尊厳を守り、安全に配慮しその有する能力に応じ自立した日常生活の支援をします。
- ・ 高齢者が住み慣れた地域で安心して快適な日常生活が営めるよう「生活の質」「介護の質」を基本とし、地域で信頼される介護サービスを提供します。

2. 施設方針・テーマ

テーマ 「笑顔」 ～相手を思う心優しい介護～

- ・ 人として尊厳を守る介護
- ・ 笑顔で安心出来る介護サービス提供
- ・ 専門性を活かした認知症高齢者ケアの提供
- ・ 地域福祉の拠点施設としての活動

3. 実施事業

- | | |
|--------------|---|
| (1) 介護老人福祉施設 | 定員 160 名 (ユニット型個室 120 名)
(従来型多床室 40 名) |
| (2) ショートステイ | 定員 24 名 (ユニット型個室) |
| (3) デイサービス | 定員 24 名/日 |
| (4) 居宅介護支援事業 | |

4. 重点目標

- ・ 一人ひとりに寄り添い尊敬の意を大切にし、その人らしい豊かな人生が送れることを目指します。
- ・ 世の中の流れに即し職場環境を改善しながら介護・支援を通し人として成長し、やりがいと喜びをもって働ける職場を目指します。
- ・ 「地域において求められる施設」とは何かを考え、社会資源の活用や地域貢献に努め地域の方に親しまれ愛される施設運営を目指します。

(1) 人材育成と職場定着

① 業務の効率化

- ・ ICT 機器の有効活用により介護業務の負担軽減、
- ・ 介護ソフトウェア、ハードウェアの導入
(ケアカルテ・ハナスト・スマートフォンの導入)

② 職員の育成とスキルの向上

- ・ E ラーニングの有効活用を行い必要な研修の検討・参加しやすい研修の企画。
- ・ 職員の参加率を上げるにより、知識・技能の向上を図る

- ・外国人留学生を育成する
- ③ 職場環境の見直し
 - ・働きがいのある職場を目指し職場環境改善に取り組む。
(法人配置基準を満たす人員を確保し、職員の負担を防ぐ)
 - ・相談しやすい環境を作る。(年3回の定期的な面談、相談環境の確立)
 - ・リーダーの育成とケアの質の向上を図る

(2) 利用者へのサービス提供(顧客満足・質の向上)

- ①利用者の全身状態にアプローチできる支援体制を構築
 - ・多職種共同によるチームケア(リハビリ・栄養管理・口腔管理の一体的実施)
褥瘡者数の減少、栄養状態中リスク高リスク者の維持改善
 - ・転倒転落予防・褥瘡予防・疾患予防等全身状態へのアプローチ
より効果的な自立支援、重度化防止につなげる。
- ②利用者の生活を豊かにする取り組み
 - ・趣味活動の準備(クラブ活動の開催)
 - ・ボランティア活動の充実
 - ・不適切ケア、高齢者虐待防止、早期発見し、適切な対応
- ③認知症ケアの取り組み
 - ・認知症のご利用者の視点に立ち、より良いケアの検討・提供をする
 - ・認知症リーダー研修の受講により、質の向上を図る(加算取得に繋げる)
- ④医療連携の促進
 - ・医療機関と連携することで、状態変化の早期発見・見早期対応し
入院期間を短期間化する。
 - ・入院時等の医療機関への情報提供(医療・栄養等)
 - ・看取りケアの充実

(3) リスク対策(感染・安全・災害等)

- ①転倒防止によるプロジェクトの継続
 - ・転倒スコアシートを利用し状態を把握、圧迫骨折や転倒時の
骨折リスクが高い利用者に対してのアプローチを実施
 - ・適切な福祉用具の検討・導入
- ② 感染症予防と感染時対策の徹底
 - ・BCPの見直し・訓練の実施
 - ・感染対策における医療機関との連携
- ③ 防災設備・災害用品の整備
 - ・BCPの見直し・訓練の実施
 - ・被災時の食料(7日分)整備、被災時トイレ等の整備
 - ・災害時必要物品の検討・導入
 - ・地域住民を含めた防災避難訓練の実施

(4) 施設・設備整備

- ① 設備・備品の点検と管理、修繕の迅速な対応
 - ・ 開設 10 年が経過、設備や備品の不具合の早期発見、早期改修を実施
 - ・ 全館に LED 照明を導入、光熱費の削減を実施
 - ・ 太陽光パネル・LP ガス自家発電 補助金を活用し整備事業の実施
- ② ICT を導入し職場環境の改善
 - ・ 見守りシステムの活用
 - ・ 介護用リフトの導入検討
 - ・ 介護負担軽減や業務効率化に繋がる、介護ロボット等の導入・検討

(5) 地域連携・社会貢献

- ① SNS・Instagram を活用し地域に情報を発信していく。
 - ・ 毎月発行の広報誌の中身を充実させ発信、ホームページを活用し、行事や出来事を情報発信していく。
 - ・ 家族会を開催し施設運営の理解と協力を求める
- ② 地域との交流、ボランティアの受入れ
 - ・ パークタウン東綾瀬いきいきサロンへの参加（定期参加年 4 回・講師派遣）
 - ・ 避難訓練、施設見学会等にて地域住民に参加を促進
 - ・ 保育交流の実施
 - ・ ふれあいはあとまつりの開催

(6) 経営管理

- ① 安定的な事業経営
 - ・ 各事業における目標稼働率の達成を目指し、月末状況の分析、改善計画を立てる。
(特養 150 名、ショート 17 名、デイ 14.5 名、居宅 64 件)
- ② 選ばれる施設・断らない事業所を目指す
 - ・ 特養：待機者名簿の再確認と先手を打った空床管理
 - ・ ショート・デイ：多様な利用者に対応できるためのケアの質向上
(ニーズを掴みニーズに応える。)
 - ・ ボランティアやイベントにて地域社会と連携し待機者増を目指す。
- ③ 加算取得の分析
 - ・ 目標達成に向けた改善計画、加算要件の確認を行い取れる加算がないかの検討
 - ・ 新規加算の取得

5. 新規事業

なし

6. その他
なし